

定例市長記者会見録

日 時：5月26日(火) 午後1時30分～2時00分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：-師 中野市長、福井副市長、

報道機関 朝日新聞、NHK、中部経済新聞、中日新聞、毎日新聞、読売新聞
時事通信

本日の案件は7件です。

1番目は「AI その①：東京大学の松尾・岩澤研究室とAIを活用した実証実験を行います」についてです。

DXの柱の中で、今年度はAIについても取り組む予定です。

AI分野において日本の第一人者である、東京大学の松尾・岩澤研究室（通称：松尾研）の松尾豊教授と連携して実証実験を行えることとなりました。

4月30日（木）に、松尾教授とオンライン会談を行いました。具体的な内容は、三つです。

一つ目が松尾研と契約を結ぶ実証実験です。

先ほどニュースを見て驚きましたが、巨人軍の阿部監督のお嬢さんが、父親との喧嘩の相談をChatGPTにしたところ、「匿名で相談できる児童相談所というものがありますよ」と出たとお嬢さんの声明文が発表されていました。このように今、本当に若い子は何かあったら検索ではなく、ChatGPTに相談しているのだと改めて実感いたしました。

そこで、対話型AIによるいじめ対策実証プロジェクトがテーマとなっています。

これは、児童や生徒が気軽に相談できる窓口としてAIチャットボットを導入するものです。現在、市内42校の小学校うち6校と、19校の中学校うち5校の計11校での実施を予定しています。

二つ目のテーマは、AI人材の育成支援事業です。

この地域の高校生や大学生などの若年層を対象に、高度AI人材の育成を目的としたイベントを8月の夏休み期間中に開催する方向で進めています。松尾研による基調講演やAIワークショップの実施を予定しており、詳細はこれから具体的に詰めていきます。

以上の二つは、松尾研がすでに他の自治体とも取り組んでいる内容ですが、三つ目の取り組みは新規であり、国内初の試みです。それは、市民の声を政策に反映させるAIエージェント実証事業で、市役所に寄せられた電話やメールの内容を、テキストにして分析した上で、事業の効率化や施策の改善提案をAIに行わせる実証実験です。

例えば、市役所には昨年50万件を超える電話がかかってきましたが、それを全部検証するのは困難なため、期間と部署を限定して電話の内容を分析します。対象は、証明書発行や住所異動などで市民の皆さまと接する機会が特に多い市民課と子育て支援課の二つの部署

です。現在、多くの市民は、市ウェブサイトを検索・閲覧していると思います。その際、「必要な情報が書かれていない」とか、「よく分からない」といった話があるのではないかと思います。電話の内容を分析することで、市の公式ウェブサイトを充実させ、問い合わせ電話などの件数を削減できると考えています。さらに一步進めて、政策や事務手続き、業務の進め方について提案させることも検証する内容となっています。

DXという言葉が定着して久しいですが、実態としては、Dのデジタルに多額の費用を使っているものの、本来の目的であるXの業務改革・組織改革が十分に進んでいないのが現状です。そうした中、現在はAI技術が急速に進展している状況で、AXという言葉も出てきており、AIを使った業務改革の可能性について、踏み込んでいきたいと考えています。

2番目は「AI その②：CAIO 設置など市役所でAI 利活用を進めます」についてです。

さらにAIの利活用を進めて行くため、内部体制を整えます。最高責任者には市長が就任し、補佐監には外部人材で、アカデミックの方を登用する予定で調整中です。

これまでのAIの活用例として、住民税の申告受付予約にAI電話を導入し、電話が話し中になることはなくなりました。AIの自動音声に対応することで、24時間、土日も電話での予約が可能になりました。次に、愛知県の予算で実施した2～3週間の実証実験で、AIがフロア案内として、来庁者からの問い合わせに対応する取り組みを行いました。

最後に、庁内業務における職員のAI利用状況について、直近でアンケートを実施しました。本市では、LGWAN環境で利用可能な「自治体AI z evo」と「Qommons AI」の2種類を導入しています。予算を抑えるため、アカウント数や文字数に制限がある形で運用していますが、活用率については、約半数にあたる45.2%の職員が生成AIを使っているとのアンケートの結果でした。具体的な用途としては、文章作成や情報検索が圧倒的に多い状況です。今後はこれらの状況を踏まえ、せつかくの松尾研との連携を生かし、すぐにでも進めていきたいと考えています。

3番目は「AI その③：情報通信・地方行政・郵便分野のサイバーセキュリティ確保に関する会合について」についてです。

私が全国市長会を代表して出席した会議の報告です。林総務大臣から最新AI「クロード・ミュトス」を悪用したサイバー攻撃への懸念を踏まえた対策の検討をするようにという注意喚起がございました。地方自治体側として、現地で出席したのは全国市長会の私だけでしたが、全国知事会を代表して千葉県熊谷知事がオンラインで発言されました。DXのデジタルで、各自治体が個別にDXを推進してきた結果、システムが乱立してしまった経緯があります。今になって標準化とかクラウドに上げろとかいうことで、また多額の費用やエネルギーがかかっています。AIについてはもっと国が主導してくださいという話は、隣に座った「J-LIS（総務省の外郭団体）」の理事長や自治行政局長からも出てきたところですが、確かに市長会として意見を整えつつ、AIの活用をはじめ、いい方向に進むように動いていき

いと考えています。

4番目は「一宮七夕まつりゲストの篠原ともえさんが事前に『尾州』を訪問します」についてです。

七夕まつりのゲストとして篠原ともえさんが来てくれることになりました。これに併せて、七夕まつりの前に「尾州」の企業を訪問し、工場見学を行いたいとのご要望をいただきましたので、そのお知らせとなります。篠原ともえさんはタレントとしての印象が強いかもしれませんが、現在はファッションデザイナーとしてご活躍されています。今回はデザイナーとして七夕まつりに参加していただき、併せて、工場見学をしていただけるということで、ぜひ取材していただければと思っています。

5番目は「最高賞金 200 万円『2026 いちのみや脱炭素ビジネスコンテスト』の募集を開始します」についてです。

こちらは昨年度に引き続きの実施となります。昨年度は 11 件の応募があり、どれも非常にレベルの高い内容でした。今年度も昨年度と同様の賞金規模で実施します。「我こそは」と思われる企業や団体の皆さまには、ぜひ応募していただきたく、この場をお借りしてご紹介します。

6番目は「食料品物価高騰支援金をまだ受け取っていない方へ受け取り方法の案内を送付します」についてです。

物価高騰支援金として、一宮市では 1 人 5,000 円を支給しています。19 歳以上の方が対象で約 32 万人となります。18 歳以下の方へは児童手当に 2 万円を上乗せする形で支給しています。19 歳以上の方への一人 5,000 円の支給について、給付に伴う事務コストを抑え、手続きの簡素化を図るため、公金受取口座での受け取りを市として強く推し進めました。

1 回目の振り込みとなる約 18 万人の方は、もともと公金受取口座を登録されていた方ですが、その後も 3 月末までの登録を呼びかけた結果、新たに約 3 万人の方に登録していただきました。「マイナンバーカードがなくても、金融機関の窓口で公金受取口座を登録できます」とご案内したところ三菱 UFJ 銀行の窓口が大変混雑する場面もありましたが、合計約 21 万人の方には公金受取口座に振り込みします。

一方で、それ以外の残り約 11 万人の方には、別途封筒をお送りします。受け取り方法は「セブン銀行 ATM での受け取り」または「口座振込」のどちらかを選択していただきます。セブン銀行 ATM での受け取りについては、ATM を操作するとお金が受け取れますという表現が詐欺などを連想させ、誤解を招くおそれがあるとの話もありましたので、今回、全戸配布する広報一宮 6 月号にも、封筒のデザインを掲載して周知しています。

また、重要な点として、セブン銀行 ATM での受け取りの際、ご自身のキャッシュカードや通帳をご用意いただく必要はありません。この点について誤解が生じないように、市としてし

っかり周知していきたいと思っています。

最後が「一宮市議会 6 月定例会」についてです。

令和 8 年度 6 月補正予算(案)に計上された主な事業のうち、No. 1 と No. 2 は企業から寄付をいただきましたので、「BISHU FES.」と「一宮七夕まつり」の関連費用として増額するものになります。

No. 3 が「アジアパラ競技大会」についてです。アジア競技大会と比べると観客席に空席が目立つことが懸念されます。市として盛り上げを図るために、観戦チケットを一定数購入し、福祉団体や高校生を招待する企画となっています。そのために必要な予算を計上しています。

以上、私からの資料説明となります。

質疑応答

■AI その①：東京大学の松尾・岩澤研究室と AI を活用した実証実験を行います

(記者) 松尾教授の「研究室」と「関連企業」とのすみ分けはどんな意味があるのか？

(市長) 学術的な事業は「研究室」が担い、ビジネスに近い事業は「関連企業」が担うものと我々は受け止めています。

(記者) AI 実証実験で成果が出た場合、本格導入や正式契約の予定があるのか？

(職員) 実証実験の結果を受けて対応を検討することになります。当然、市の予算やさまざまな要件があり、その中でどうするかを判断することになると思います。

(記者) 「市民の声を施策に反映する AI エージェント実証事業」について、寄せられた電話やメールのプライバシーは、どう保護されるのか？

(職員) 対象の部署や期間を限定して実施します。個人情報については、仮名や匿名に加工した上で、AI エージェントで処理することを想定しています。

(市長) 固有名詞のマスキングは、市も重要なテーマであると認識しています。

(記者) 各実証実験はいつから始めるのか？

(市長) いじめ対策実証プロジェクトは、対象の学校や学年は決まりましたが、正式な日程は未定です。AI 人材育成支援事業は、高校生や大学生などの若者に集まっていたくので、8 月に開催することは決定していますが、こちらも詳細が決まり次第発表します。

(職員) AI エージェント実証事業は、契約の準備がほぼ整っており、近々スタートさせる予定です。音声のテキスト化よりも、メールの分析は時間がかかりませんので、メールの分析から先行して進めたいと考えています。

■AI その②：CAIO 設置など市役所で AI 利活用を進めます

(記者) AI 推進最高責任者を設置する狙いや意図、期待できる効果などを詳しく教えてください。

(市長) 市長が先頭に立って AI の利活用を市内全体へどのように広げていくかを示すため、今回は市長が CAIO に就任する体制をとりました。従来は CIO (チーフインフォメーションオフィサー) をはじめとするデジタル関連の統括を副市長にお願いしてきましたが、AI は大胆に業務を変える可能性を持つツールであると心底感じています。そのため、市長がトップの体制をとります。

(記者) 設置はいつからか？

(職員) 準備が整い次第です。

(記者) CAIO 就任にあたり、今後、どのような実証実験を行い、どの分野での活用に注力したいと考えているのか？

(市長) 以前「書かない窓口」を導入した際に、マイナンバーカードで読み取ったデータを紙で一度プリントアウトし、市民に署名してもらっていました。なぜかという、総務省の省令で、「紙での保存」が求められていたため、それを私が内閣府のデジタル審議会で問題提起したところ、総務省が省令を改正してくれて、現在はタブレット画面上での電子サインによる電子完結が可能となっています。

このように、霞が関の各省庁が「本社」で、地方自治体を「支店」と位置づけて仕事をしているケースが多く、DX (デジタル) を進めていくうえで、「本社」が本気で考えてくれなければ、いろいろな事務作業を機械に置き換えたところで、実際のところの X (業務改革) ができていなかったのが、これまでの DX です。

それと同じ失敗を AX で繰り返さないためにも、現場で見えている課題や問題をしっかりと関係する主管省庁や霞が関に声を届けていきたい思いがあります。

■令和 8 年度 6 月補正予算(案)に計上された主な事業

○「アジアパラ競技大会」関連費用の増額

(記者) チケット購入費 400 万円の想定枚数は？

(市長) 一宮市総合体育館で開催されるパラバドミントン用で最大 4,000 枚を予定しています。

(記者) チケットの配布先は？

(市長) 福祉団体と私立高校などです。

(記者) 児童を会場まで送迎するものとは、バス代のことか？

(市長) バス代です。

○民間活力を活用した屋内プールの整備

(記者) 民間活力を活用した屋内プールの整備とは？

(市長) 市が屋内プールを直接建設するのではなく、民間事業者が整備した屋内プールを市がリースで借り受けるという方式となります。小中学校のプールが老朽化しており、

修繕には億単位の費用がかかります。現在は民間のスポーツクラブなども活用しており、新設されるプールも小中学校の授業で利用する方針です。

(記者) 現状でも民間のプールを利用している小中学校があるのか？

(市長) 42 小学校、19 中学校のうち、数校ですが、民間のスポーツクラブやスイミングスクールに子供たちを送迎して教えてもらっています。

(職員) プールの外部委託は、市内では尾西スイミングスクールに 3 校、コパンスポーツクラブ木曾川に 1 校、そして今年度から V トピアスポーツクラブ一宮に 1 校で、全部で 5 校が行っています。また、市外のプールでは稲沢市、岩倉市、江南市で、計 3 校が行っています。